

# 東北広域次世代がんプロ養成プラン

## 周術期口腔支持療法歯科衛生研修コース（がん口腔ケア特別研修コース）

### 募集要項

口は、食べる・話す・笑うといった人間生活に必須の役割を担い、口腔機能を可能な限り高く維持することは、周術期や入院加療中、さらには緩和ケアを受けている患者さんの生活の質を維持し、人としての尊厳を保つために極めて重要である。特に、頭頸部領域や上部消化管・呼吸器の外科処置時、放射線治療時や薬物療法、更に造血幹細胞移植時などの口腔管理は、入院期間の短縮や不快症状を軽減し、闘病生活を支える上でも極めて重要である。しかしながら、がん治療中に実施する周術期等口腔管理・ケアは、様々な専門的知識が要求される。東北大学大学院歯学研究科では、最前線に立つ東北大学病院スタッフから周術期の口腔に関わる最新の知見と臨床現場での対応に関するご講義をいただきます。

#### 目 標

- ・がん治療医療機関や急性期・慢性期の医科治療実施患者の周術期口腔管理、および、訪問診療時の有病者口腔管理を適確に実施する口腔支持療法を実践する歯科衛生士
- ・有病患者の多職種連携によるチーム医療に参加し、口腔管理を病態に応じて適確に実施し、地域で患者を受け入れることのできる歯科衛生士

**受講期間：**2026年8月～2027年2月

**受講料：**無 料

**受講対象者：**歯科衛生士、歯科医師、受講を希望する歯科医療関係者

**受講内容：**オンライン講義<sup>\*1</sup>で8時間、自己学習で22時間、合計30時間以上を履修し、レポートを提出することを必須とする。

#### 《オンライン講義》「がん口腔ケア特別研修」 Zoomにて17:30～開催予定 各1時間程度

- |            |                   |                    |
|------------|-------------------|--------------------|
| ・8月27日（木）  | がん薬物療法中の全身管理      | 谷口 桜 先生（がんセンター）    |
| ・9月15日（火）  | 肺がんの薬物療法と口腔管理の重要性 | 宮内 栄作 先生（呼吸器内科）    |
| ・10月15日（木） | 骨軟部肉腫および骨転移の治療    | 吉田 新一郎 先生（整形外科）    |
| ・11月12日（木） | CAR-T と BiTE      | 川尻 昭寿 先生（血液内科）     |
| ・12月2日（水）  | 頭頸部領域の放射線治療       | 神宮 啓一 先生（放射線治療科）   |
| ・12月18日（金） | 高齢者口腔がん治療のアップデート  | 瀬瀬 衆 先生（顎顔面口腔腫瘍外科） |
| ・1月7日（木）   | がん治療を止めない口腔ケア     | 佐藤 馨 先生（総合外科）      |
| ・1月26日（火）  | 頭頸部がん治療           | 大越 明 先生（頭頸部外科）     |

※1：「がん口腔ケア特別研修」

基本的な口腔管理の知識・態度・技能を有する歯科衛生士、および、歯科医療関係者に対して、口腔支持療法を実施する際の様々な課題を取り上げ、即戦力として日々の臨床に取り組める知識と技能を解説する。特に、多様な病態をみせる様々ながん患者へ対応するために、医科診療科の治療担当医師から、最新の医科治療の動に直結する口腔管理に関する情報をご講義いただき、相互の議論から適確な口腔支持療法を実施する技能を身に付ける。

**応募期間：**2026年8月20日（木）

**応募方法：**以下 URL または QR コードより申込

**申し込みフォーム** <https://forms.gle/hx7idYMW9dtT4FQQ6>



詳細については、下記へお問い合わせください。  
東北大学歯学研究科予防歯科学分野（口腔支持療法科）  
メールアドレス：yobou\*grp.tohoku.ac.jp  
\*を@に置き換えてお送りください。